

スラブ研究センター欧文学術雑誌
ACTA SLAVICA IAPONICA 執筆要領

(2008. 8. 20.)

1. 原稿は未発表のものに限る。
2. 執筆計画の確定：執筆希望者はあらかじめ別紙の執筆申込書により編集部へ執筆計画を提出のこと。執筆申込書の提出期限は毎年 12 月末日とする。
3. 原稿の分類：原稿には、論文、研究ノート、書評論文、書評の区別を記す。ただし編集上の都合で分類が変更されることもある。
4. 書式と規模：原稿は A4 版の用紙にパソコン・ワープロ（使用できない場合はタイプ）で記すこと。論文、研究ノートの場合は注を含めダブルスペース（1 枚 25 ～ 30 行）で 25 枚程度、書評論文の場合は同 15 枚程度、書評は同 3 枚程度を標準とする。
5. 原稿はあらかじめ執筆者の責任において、使用言語のネイティブ・スピーカーの校閲を受けることを必須条件とする。
6. 原稿の提出：原稿は 1 月 15 日の締切までに編集部へ提出のこと。パソコン・ワープロ原稿の場合は必ずフロッピーを添えて、使用ソフト名を明記する。また、必ずコピーを手元に保管する。
7. 校正：校正は初校のみを著者校正とし、以下の校正は編集部で行なう。校正は必要最小限度にし、新たに文章を書き加えないことを原則とする。
8. 翻字・強調：キリール文字をラテン文字に翻字するときは、原則としてアメリカ議会図書館（L.C.）システムに従う。本文中の強調部分は原稿に下線を付すこと。

ロシア語アルファベットの場合

Аа → a	Ии → i	Тт → t	Ыы → y
Бб → b	Йй → i	Уу → u	Ьь → ’
Вв → v	Кк → k	Фф → f	Ээ → e
Гг → g	Лл → l	Хх → kh	Юю → iu
Дд → d	Мм → m	Цц → ts	Яя → ia
Ее → e	Нн → n	Чч → ch	
Ёё → e	Оо → o	Шш → sh	
Жж → zh	Пп → p	Щщ → shch	
Зз → z	Рр → r	Ъъ → ”	
	Сс → s		

9. 図版など：図版などの資料はそのまま印刷できるような形で原版を用意し、挿入する箇所を原稿中に指定する。
10. 注の書式：通し番号を付し、本文の末尾にのせる（編集時に脚注に作り直す）。引用注の形式は「『Acta Slavica Iaponica』ほかセンター欧文出版物の引用注の様式」を順守すること。

11. 固有名詞の表記や注などの形式などについては、編集部判断で適宜修正・統一をすることがある。
12. 抜き刷りは、50部を無料贈呈。増刷希望の執筆者はあらかじめその旨連絡のこと。50部を超える分については有料。

Acta Slavica Iaponica 編集者 : 松里公孝
編集助手 : 大須賀みか

(011-706-3311)
(011-706-2385)
Fax (011-706-4952)
E-mail: mika@slav.hokudai.ac.jp